# 北陸新幹線アクセス交通の整備及び利用促進に関する 黒部市地域公共交通網形成計画に基づく総合的な取組み

実施主体:黒部市/黒部市公共交通戦略推進協議会/㈱新日本コンサルタント

### 北陸新幹線開業

平成 27 年 2 月 26 日:富山地方鉄道『新黒部駅』開業 同年 3 月 14 日:北陸新幹線『黒部宇奈月温泉駅』開業 JR 北陸本線県内区間が 3 セク化

- ◆黒部市の交通網は**大きな転換期**を迎える
- ◆北陸新幹線「はくたか」が一日 15 往復停車
- ◆東京一黒部宇奈月温泉駅間は最速で 2 時間 14 分で結ばれる
- ◆黒部宇奈月温泉駅周辺には駐車場が約 610 台確保
- ◆富山県東部地域の玄関口としてビジネスや観光の交流人口が増大
- ◆YKKの本社機能一部移転による人口移動等大きな開業効果

## 新幹線開業前(平成27年2月)の黒部市公共交通網 (あいの風とやま鉄道 愛本コミュニティタクシー デマンド交通 運行エリア 富山地方鉄道本線 池尻線 宇奈月温泉駅

網形成計画の推進による段階的な交通ネットワーク整備経過



## 地域公共交通網形成計画の策定

黒部市では平成 27 年 4 月に網形成計画を策定

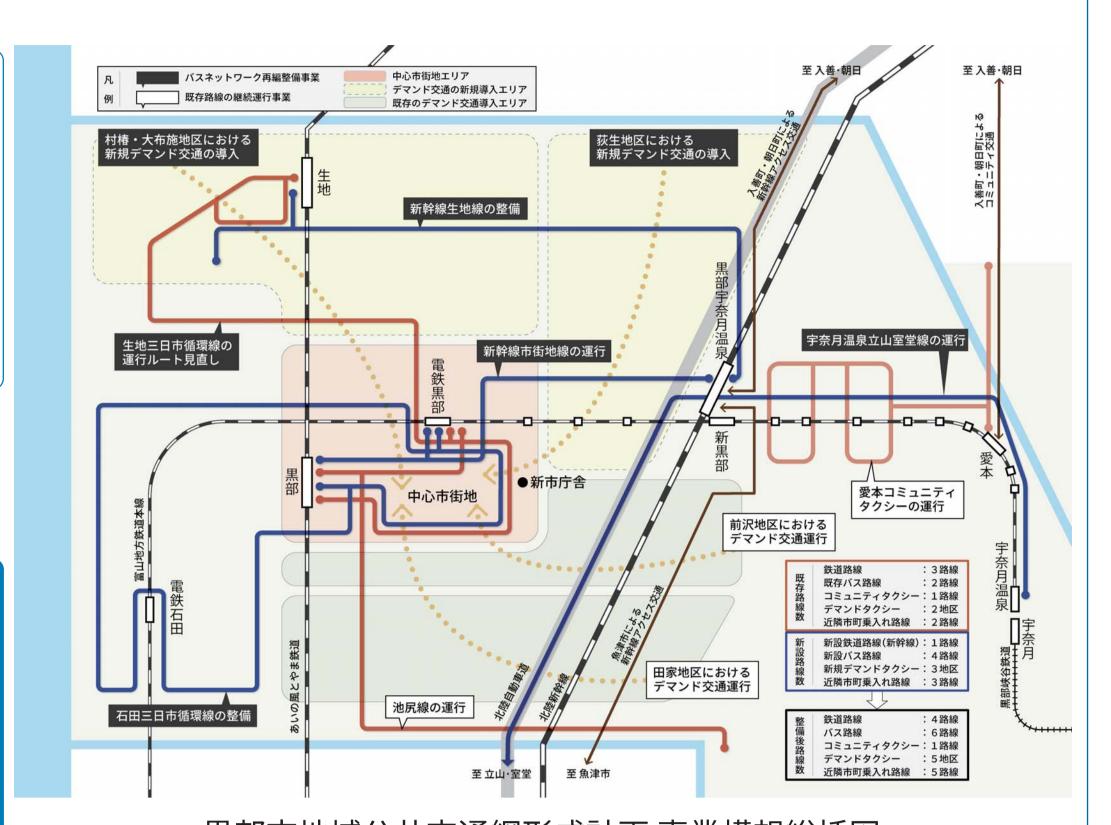
#### 【計画策定時点の課題】

- ・北陸新幹線開業への対応
- ・市街地開発等の進捗を見据えたアクセス交通の整備
- ・バス交通ネットワークの段階的な再編
- ・市内外との交流を支える鉄軌道の利用促進や利用環境整備
- ・利便性を高めるバスロケーションシステムの導入 ・公共交通に関する新技術の導入
- ・公共交通網の将来構想など、将来に向けた様々な検討

公共交通網の再編に必要な様々な事業を着 実に推進し、新幹線開業効果を維持しつつ 地域住民の次の 10 年の移動を支える必要

#### 【網形成計画の基本方針】

- ① 鉄道を軸とした公共交通ネットワークの形成
- ② 持続可能性を高める公共交通の利用促進や利用環境整備
- ③ 利便性と魅力を高める公共交通環境の提供
- 4 公共交通に関する新たな技術の導入
- ⑤ 公共交通網の将来構想の推進



黑部市地域公共交通網形成計画 事業構想総括図

### 北陸新幹線駅と市街地を結ぶ『新幹線市街地線』の運行

新規アクセスバス

一日片側13便

比較して どちらがお得!?

新幹線駅と既存の拠点駅や市街地間は4km程度の距離 既往調査より100人/日程度のバス需要を想定

開業効果を最大化するため新幹線駅とのアクセス向上が必要

鉄道・バスを活用するアクセス交通の接続便数イメージ

北陸新幹線 黒部宇奈月温泉駅

一日片側15便

合計

一日片側13便

市街地•黒部駅•電鉄黒部駅

沿線では公共施設や、民間の大規模居住地の整備が進展

1日13往復、片道20分のアクセス路線を計画

新幹線ダイヤの発表(開業3ヶ月前)に合わせ、富山地方鉄道と連携した運行ダイ ヤの作成、適切な運行便数の検討を実施



黒部宇奈月温泉駅改札正面に公共交

車輌のラッピングデザイン、停留所サ イン等のトータルデザインを実施



なるほど!



### 黒部市地域公共交通網形成計画に基づく総合的な取組み

#### 黒部市における平成 27 年度MMの取組目的

黒部市市民アンケート調査

- (平成26年12月~平成27年1月実施)
- ・・・公共交通を1年間で一度も「利用していない」 市民が約39%
- ・・・「年に数日」を含め、公共交通をほとんど利用しな い市民が約8割を占める現状

一年間の公共交通利用頻度	回答数	割合		
週5日以上	43	6.5%	)	
週3~4日	9	1.4%		月に1日以上利用する割合
週1~2日	18	2.7%		21.3%
月に1~2日	70	10.7%	│	
年に数日	250	38.1%	, L	
冬期や悪天候(降雨・降雪)時のみ	11	1.7%		ほとんど利用しない割合
利用していない	256	39.0%		77.1%
合計	657	100%		
(出身	电:黒部市公共交	通網形成計画	)	

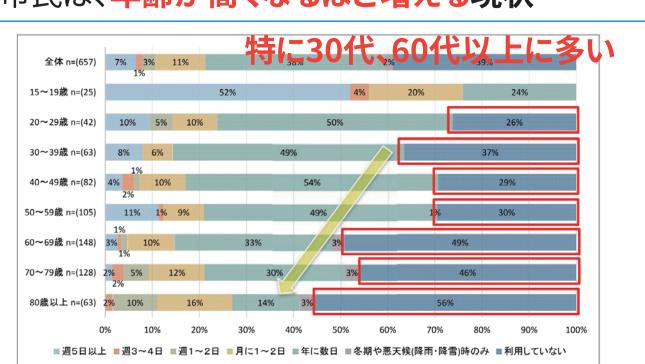
#### 【公共交通利用促進の課題】 「公共交通にまずは一度乗って頂き、体験し身近 に感じる機会づくり」を設定

黒部市公共交通網形成計画に「モビリティマネジメン トの実施」を利用促進事業として初めて位置づけ。 一定の公共交通ネットワーク整備が成ったため、今後 はネットワークを使いこなす戦略にシフト。

#### 黒部市における平成 27 年度MMの対象

黒部市市民アンケート調査

・・・公共交通を1年間で一度も「利用していない」 市民は、年齢が高くなるほど増える現状



#### •黒部市の重要な戦略路線である**新幹線市街地** 線の利用を想定

- ・30代(小さな子どものいる世帯)と60代以上 (沿線町内会や老人会)を対象
- •市民全体には共通ツールで啓発 •MM初年度であり、今後の取組のベースづくり

#### 沿線住民への体験乗車会の実施と参加者への MM

【60代以上向けMMの対象者】

新幹線市街地線沿線町内会及び老人会等の組 織、各バス停周辺に居住している市民

富山地方鉄道

-日片側32~33便

【実施内容①】

- •新幹線市街地線の体験乗車会を実施
- ・乗車後に公共交通の利用説明会を実施

【実施内容②】

・体験乗車会参加者を対象に、意識変容の状況 を把握するコミュニケーションアンケートを実施

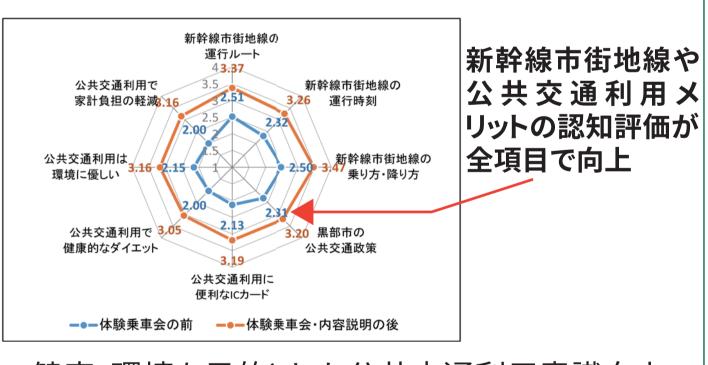
#### 【効果把握】

- ・日常の交通行動についての意識変容
- •新幹線市街地線に関する認知状況

### 公共交通 🛶 ●燃 費 料(年間) $\sim \sim$ ●雪道でも安心! ●駐車場代(年間) ●安全運転で 運行します! ● その他… 車検料、定期点検料等

乗車後にガイドブックを通じた公共交通学習を実施

・体験乗車会により200人弱が初めて乗車 ・新幹線市街地線の認知度が大きく向上



・健康、環境を目的とした公共交通利用意識向上 【健康のために控えた方がいい】 回答数割合 回答数割合 37 21.3% とても強くそう思う とても強くそう思う 84 48.3% 108 62.1% あまり思わない 40

### 園児の絵の掲示と保育所保護者向け MM

【30代向けMMの対象者】

市内の保育所等の園児とその保護者を対象

【実施内容①】

・市内の保育所園児に絵を描いて頂き、期間を 区切り新幹線市街地線車内に掲示

・掲載期間中に保護者に体験乗車チケットを配 布し、乗車体験を促す

【実施内容②】

•市内保育所の対象園児保護者に対してコミュ ニケーションアンケート及びガイド配布を実施

【効果把握】

・日常の交通行動についての意識変容

•新幹線市街地線に関する認知状況



・体験乗車会により35家族が初めて乗車 ・新幹線市街地線の認知度が大きく向上

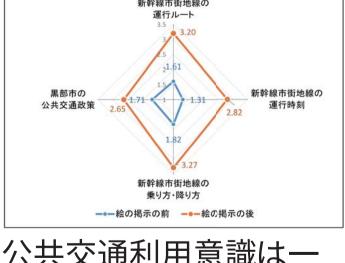
2.9%

2.3%

5 l

4

体験乗車チケットを → 新幹線市街地線に ↓	利用した	利用して いない
乗ったことがあった	9 人 3.6%	15 人 6.0%
乗ったことは無かった	35 人 14.1%	170 人 68.3%



4

2.3%

・健康、環境を目的とした公共交通利用意識は一 定程度向上したが、30代は車を必要とするシーン が通勤や送迎で多く、60代以上に比べて効果が 低い。 → 今後の課題

	回答数	割合		回答数	割合
とても強くそう思う	9	3.6%	とても強くそう思う	8	3.29
そう思う	114	45.8%	そう思う	146	58.69
あまり思わない	92	36.9%	あまり思わない	67	26.99
全く思わない	13	5.2%	全く思わない	8	3.29
無回答	21	8.4%	無回答	20	8.09

#### 公共交通ガイドの全戸配布

の情報をHPにも掲載



乗り方、使い方の紹介

時刻表には乗り継ぎ情報も掲載

市内で利用できる公共交通を網 羅し、路線・ダイヤだけでなく、 乗り方・カードの利用方法・結節 点での乗り継ぎ等総合的な情報 をとりまとめた公共交通ガイドを 作成し、市内全戸に配布。同様